

源流から下流まで、多摩川をむすぶ水辺のネットワーク

多摩川をシンボルにみんなで美しい多摩づくりを！



- 多摩川源流こすげ水辺の楽校**
〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4698 小菅村 源流振興課
TEL 0428-87-0111(代) 担当: 中川 徹
- 青梅・多摩川水辺のフォーラム**
〒198-0036 青梅市河辺町1-805-1-207
TEL 0428-22-0980 事務局長: 井上 松男
- 福生水辺の楽校**
〒197-0022 福生市本町5 福生市 生活環境部 環境課
TEL 042-551-1511(内線2532) 協議会会長: 祖父江 重夫
- 平井川こどもの水辺**
〒197-0802 あきる野市草花3012-20
TEL 042-559-8281(川原で遊ぼう会) 事務局長: 辻 淑子
- あきしま水辺の楽校**
〒196-8511 昭島市田中町1-17-1 昭島市 環境部環境課 水と緑の係
TEL 042-544-5111(内線2294) 協議会会長: 竹村 茂己
http://www.7a.biglobe.ne.jp/~akishima-mizube/
- 八王子浅川こどもの水辺協議会**
〒192-8501 八王子市元本郷町3-24-1
八王子市 環境部 水循環室(水行政担当)
TEL 042-620-7291 協議会会長 秋間 利久
- 滝合水辺の楽校**
〒191-0055 日野市西平山2-3-1 日野市立滝合小学校内
TEL 042-583-5172 学校長: 佐藤 周一
http://www.e-takiai.hino-kyo.ed.jp/
- 浅川潤徳水辺の楽校**
〒191-0011 日野市日野本町1-6-3 日野市環境情報センター
TEL 042-581-1164 センター長: 小倉 紀雄
- たちかわ水辺の楽校**
〒190-0013 立川市富士見町6-9-107
TEL 042-525-8505 事務局長: 影山 勇二
- 多摩市子どもの水辺協議会**
〒206-8666 多摩市関戸6-12-1
多摩市 都市環境部 みどりと環境課 環境政策担当
TEL 042-338-6831(直通)
協議会会長: 勝部 隆
- 府中水辺の楽校**
〒183-0056 府中市寿町1-5 府中市 水と緑事業本部公園緑地課
TEL 042-335-4315 協議会会長: 島村 勇二
- いなぎ水辺の楽校**
〒206-8601 稲城市東長沼2111
稲城市 都市建設部 緑と建設課 緑と水の係
TEL 042-378-2111(内線337) 会長: 高野 隆一
- 調布水辺の楽校**
〒182-8511 調布市小島町2-35-1 調布市 環境部 環境政策課
TEL 042-481-7086 代表: 杉山 典子
- 狛江水辺の楽校**
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5 狛江市 建設環境部 環境管理課
TEL03-3430-1111(代) 協議会会長: 野口 昌男
- せたがや水辺の楽校**
〒157-8504 世田谷区世田谷4-21-27
世田谷区 生涯学習・スポーツ振興課
TEL 03-5491-2509 協議会会長: 富村 周平
- ガサガサ水辺の移動水族館**
〒214-0038 川崎市多摩区生田7-25-1
TEL 044-933-3220 館長: 山崎 充哲
http://homepage2.nifty.com/gasagasaqua/
- かわさき水辺の楽校**
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1 川崎市環境局 多摩川施策推進課
TEL 044-200-2268 協議会会長: 三竹 隆雄 校長: 佐々木 梅吉
http://www.seseragikan.com
- とどろき水辺の楽校**
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1 川崎市環境局 多摩川施策推進課
TEL 044-200-2268 協議会会長: 三竹 隆雄 校長: 菅田 木一
http://www.seseragikan.com
- 多摩川でボートを楽しむ会**
〒145-0092 大田区下丸子2-12
TEL03-3757-0849 事務局: 並木 輝彦
http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-boat/tamagawa_boat.html

多摩川教育河川ネットワークプラン

炭焼き体験と水辺の交流会

～美しい多摩川フォーラム・御岳の森～



©2007,2009 アイフィールド

美しい多摩川フォーラムは
ともに考え、ともに活動する仲間を募集中!

美しい多摩川 100年プラン

経済 多摩川夢の桜街道プラン 多摩川の観光ルートづくり 水辺のコンサート ...etc

環境 多摩川一斉水質調査 多摩川の広域清掃大会 森林の保全整備 ...etc

教育文化 多摩川教育河川ネットワークプラン 金融経済教育&郷土教育の普及 多摩川学の確立 ...etc

桜守による地域づくり教育の普及

夢のシンボルプラン **多摩川 夢の桜街道**

景観保全に向けた取組み

多摩川の森の環境教育

詳しくは、「美しい多摩川フォーラム」事務局へ
☎ 0428(24)5632 (青梅信用金庫 地域貢献部内)
http://www.tama-river.jp

美しい多摩川

2009年12月

美しい多摩川フォーラム

(注)「多摩川教育河川ネットワークプラン」事業は、多摩川流域の自治体から構成される「多摩川流域都市協議会」の支援を受けております。

はじめに

36億年前に生物が初めて誕生した海。そして古来、その海に注ぐ川の水辺にヒトが暮らし始めました。多摩川流域でも石器時代からヒトが住んでいたことが分かっています。また、私たちは、体の60%以上もの水分によって生命が維持されていることを思うとき、改めて水の大切さを感じ、更には身近な多摩川の水の恵みに感謝の念が生まれます。

子どもたちにその多摩川の恵みを肌身で感じてもらうには、川遊びが一番。まずは川で楽しく安全に遊ぶための知恵を身に付け、親子で思いっきり多摩川を楽しんでもらいました。

また、当フォーラムでは、このかけがえのない多摩川流域の自然の恵みが持続可能であるようにと、ささやかながら、本年2月末に「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」を開設し、森林保全活動を実施しています。間伐した杉材を使って、炭焼き小屋や囲炉裏のあるコミュニケーションハウスも手作りで建設しました。この場所で開催された「炭焼き体験と水辺の交流会」は、とても盛り上がりました。

未来社会を担う子どもたちが、将来にわたって多摩川の恵みを楽しみ、流域の自然環境を守るために貢献する人材に育てて欲しいとの願いをこめて実施したこの事業、その成果をここに報告させていただきます。

2009年12月
美しい多摩川フォーラム
教育文化部会長 下重 喜代



NEWS! 美しい多摩川フォーラム 御岳の森に
炭焼き窯と自然体験塾が完成!

開催決定 **8月21日(金)**
炭焼き体験と水辺の交流会
荒天・増水の場合は8月24日(月)に順延します。

御岳の森: 東京都青梅市御岳 2-352 (奥多摩フィッシングセンターの隣接地)

■日 時: 8月21日(金) 9:30~15:00 (小雨実施)

■会 場: 美しい多摩川フォーラム「御岳の森」
JR 青梅線御岳駅より徒歩 15分
(住所: 東京都青梅市御岳 2-352) (地図参照)
※お車の場合は駐車場を確保します(無料)。

■募 集: 小・中学生(親子での参加 大歓迎) 40名程度

■参加費: 無料

■ご用意いただくもの:
帽子、タオル、水筒、着替え(水に入ってもよい服装)、
履き替え用の靴(足をしっかり保護するものをご用意ください)

□お問合せ・申込み先: 美しい多摩川フォーラム事務局
(青梅信用金庫 地域貢献部内)
TEL: 0428-24-5632 FAX: 0428-24-4646
E-mail: forum@tama-river.jp

■主なイベント:

- ①竹炭焼き・窯出し体験
前日より窯焼きした竹炭を実際にとり出します。
 - ②ヤマメ・ニジマスつかみどり体験
つかみ取りしたヤマメ・ニジマスは塩焼きにします。
 - ③ライフジャケット浮力体験
川で遊ぶ時の安全面、川に棲むお魚のことを勉強します。
- ※昼食は事務局で用意します。

■今回は、タレントで
美しい多摩川フォーラム副会長の
ダニエル・カールさんも参加します!

■ライフジャケット安全指導等:
山崎 充哲 氏
(ガサガサ水辺の水族館館長、
美しい多摩川フォーラム運営委員)

■協力: 奥多摩漁業協同組合



参加申込記入欄

お名前	(年齢: 歳)	(年齢: 歳)
	(年齢: 歳)	保護者のお名前 (保護者同伴の場合) (年齢: 歳)
ご住所		
電 話		e-mail

炭焼き体験と水辺の交流会 日程表

午前

9:00～ 受付

9:30～ 事務局より説明

9:35～ 開会式

(開会挨拶) 副会長 森田 昇

(来賓挨拶) 西多摩建設事務所管理課長 二瓶 国利 様

(開会宣言) 副会長 ダニエル・カール

9:45～ 水辺の安全教室 (紙芝居)

10:00～ 竹炭焼き・窯出し体験

10:30～ ヤマメ・ニジマスつかみ取り体験

午後

12:00～ 昼食

13:00～ 水辺の環境教室 (紙芝居)

13:30～ ライフジャケット浮力体験

14:50～ イベント終了

15:00～ 閉会式



紙芝居による水辺の安全・環境教室

午前中に行なわれた安全教室では、ガサガサ水辺の移動水族館館長の山崎充哲さん(当フォーラム運営委員)が、川で遊ぶ際の約束事やライフジャケットの効用や使い方について、紙芝居で分かりやすく説明しました。

午後の環境教室では、『多摩川下流域の水温が、温かい下水処理水の流入などにより上昇する中、自宅で飼えなくなった有害な外来種の魚や熱帯魚が川に放たれて繁殖し、多摩川本来の水環境や生態系が崩れつつある』という問題を、エコの紙芝居で学びました。

このため、自宅で飼えなくなった魚を引き取る「おさかなポスト」を多摩川沿いの稲田公園内に設置しているとのことでした。

子どもたちはもちろん、保護者の大人も、初めて聞く多摩川の水環境の話に驚きながら、真剣に聞き入っていました。



山崎充哲さん(通称「やまちゃん」)の紙芝居



子どもたちの真剣な眼差し



大人も話に聞き入る



紙芝居は手作り

「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」とは？

この場所は、今年1月から2月にかけて、間伐や枝打ちを行い、森林の整備を図ると共に、景観を一段と向上させるために、山桜を15本ほど植樹した所です。目の前を多摩川が流れ、山の中腹を青梅線が縫うように走る、大変素晴らしい景観が自慢です。当フォーラムでは、この地を「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」と名付けまして、山桜が咲き始めた4月以降は、間伐した杉や檜を再利用し、フォーラム事務局の手で炭焼き窯と自然体験塾の小屋を完成させました。

今後は、未来を担う子どもたちが、自然を体感しながら環境や命の大切さを学ぶ、環境教育のステーションにしていきたいと考えております。

「おさかなポスト」とは・・・

飼いきれなくなった熱帯魚や外来種を、一時的に保護するためのイケスで、多摩川沿いの稲田公園内・魚の家に設置してあります。「おさかなポスト」で保護した魚たちは、小中学校などが里親になり、魚の飼育を通じ命の尊さと環境問題を学びながら、多摩川の生態系が守られます。一度でも飼育した生物を自然界に放つと、生態系の破壊や病気の蔓延などが起こります。飼い始めた生き物は、最後まで責任を持って面倒を見てあげましょう。



竹炭焼きと窯出し体験の様子

実際の炭焼きは一晩中の作業が必要になってしまうため、今回はフォーラム事務局の説明により、竹炭が出来るまでのプロセスをパネルで勉強した後、子どもたちに完成した竹炭の窯出しを体験していただきました。

保護者の方も、普段馴染みのない炭焼きを楽しまれたようで、大変勉強になったというご意見をたくさんいただきました。そして、「竹炭同士をぶつけると、楽器みたいな綺麗な音がする」ことが分かり、子どもたちも不思議そうに耳を傾けていました。



竹炭の作り方をパネルで説明



中はどんな様子かな？



窯から竹炭を取り出す



一人ずつ順番に並んで炭を取り出す



うまく取り出せるかな？



ダニエル・カールさんも子どもたちと一緒に体験しました

◆◆◆竹炭について◆◆◆

◆竹炭の特徴と用途

環境破壊が大きな社会問題となっている現在、炭の持つ水質浄化・土壌改良作用等の特徴が見直され、地球にやさしい環境作りにまで利用されるようになってきています。また、各地で自治体による補助金事業として大型の炭焼き窯が設置され、地域興しが行なわれています。

当フォーラムでも、地球にやさしい環境作りを実践していくため、「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」に竹炭焼き窯を設置し、次代を担う子どもたちへの自然体験・環境学習に活用していきます。

◆身近な竹炭の効用例

- ・脱臭・調湿剤
- ・家庭燃料
- ・水道水中の遊離塩素、トリハロメタンの吸着効果
- ・土壌改良

竹炭が出来るまでのプロセス

① 竹を“竹割器(たけわりき)”で割る～竹の節(ふし)を取る

竹を4つから5つに割るのですが、竹割器は均等に割るにはもってこいの道具ですね。

竹をドラム缶窯(どらむかんがま)に入れる時、隙間(すきま)なく入れるために、割った竹の節をナタで落とします。



② ドラム缶窯にロフトを敷いて竹を置く

ドラム缶(窯として横に寝かせ、土でおおった状態)の下部に、熱と火が通る格子(こうし)の役目をするロフトを置き、その上になるべく隙間なく竹を置きます。間に空気が多く残っていると、火の通り道になってしまい、せっかくの竹が灰になってしまいます。

写真は積み重ねた後にフタをしているところです。竹が見える口から、窯の温度を上げるための炎を取り入れます。



③ ドラム缶窯の口に火を焚(た)くためのレンガを置いて密閉

ドラム缶窯のフタのまわりを粘土で密閉(みっぺい)。そして火焚口(ひたきぐち)にレンガで枠を作ります。この時フタの間に隙間が出来ないように注意！当然、粘土となる土も山から取ってきてこねます。



④ 点火！ひたすら団扇(うちわ)であおぐ

火の入り口で、小枝を燃料に火をつけ、窯の温度を上げて2時間くらい燃やし続けます。火の勢いを上げるため、団扇でひたすらあおぎます。

煙突から白い煙が出てくると、窯の中で竹の水分が抜け始めた合図(あいず)。窯の中の温度を確認しながら、あおぎ続けます。



⑤ 焚口(たきぐち)の密閉

焚口をレンガと粘土で密閉しますが、小さな通風孔(つうふうこう)を残しています。これから、竹が炭になる段階です。この段階までに竹の水分が抜け、煙になる成分が出ていくのだそうです。ここで煙の成分が出るから、炭になってから燃やしても、煙が出ないのです。



⑥ ねらし作業

密閉から約8時間、竹が炭になるのをじっくり待ちます。「けむい・・・」

竹の成分が出ている煙は、とにかくけむい。服や髪の毛もスモークされてしまいました。



◆ 竹炭ができるまでのプロセス (続き)

⑦ 竹酢液(ちくさくえき)の採取(さいしゅ)

煙突の出口にトラップを付けておくと、煙が冷えて「竹酢液」の元になる液が出来ます。このままではタールが多いので、3つに濾過(ろか)して使用します。
竹の炭を作る時に出るものは竹酢液。
木の炭を作る時に出るものが木酢液(もくさくえき)。



⑧ 深夜の窯~通気口(つうきこう)を密閉

深夜の探検に出発。宿から抜け出し、23時、通気口を塞(ふさ)ぎます。その時出ている煙は、青っぽいガス。ライターで火を点けると、めらめらと青白い火が点きました。
焚口から覗(のぞ)くと、今度は温度が高いので赤くめらめらしています。



⑨ 窯出し~完成!

翌朝10時、いよいよ窯出し。
窯の入り口に積み上げたレンガとフタを外します。
この時、不完全に炭化(たんか)して温度が下がっていないと、空気に触れた瞬間に火が点いてしまうそうです。



ライフジャケットによる浮力体験 (川遊び)

川は美しく楽しい場所ですが、危険な場所でもあります。ところが、ライフジャケットを身に付け、川に詳しい大人がついていれば、安全に楽しむことができます。

近年の学校教育では、とかく「川は危ないから近づくな」と指導されています。当フォーラムでは、「川は何が危険で、どうしたら安全で、何が楽しいのか」を気付かせるため、ライフジャケットを着用した浮力体験により、みんなで学習しました。

実際にライフジャケットを身に付けて多摩川に入り、流れに身をまかせる浮力体験を行ったところ、子どもたちは「まるで宇宙にいるみたい」と、今まで体験したことのない浮遊感覚を味わうことができ、ライフジャケットを身に着けていれば、川に流されても沈むことはないことを理解し、水辺での安全確保を学びました。



ボートに乗って水遊び



隣のボートと競争だ!



こっちだって負けないぞ!



流れに身をまかせた浮力体験



勇気を出して、岩からジャンプ!



慣れたらもっと遠くへジャンプ!

ヤマメとニジマスのつかみ取り体験

「やまちゃん」のご指導のもと、つかみ取りしたヤマメとニジマスのさばき方を習い、心臓などの内臓も観察し、命の大切さを学んだ後、各自が魚を串に刺し、竹炭で塩焼きにして食べました。



つかまえたぞ!



逃げないように友だちと協力



とれたての魚をさばく貴重な体験



魚にも人間と同じ内臓があることを学びました



さあ、串に刺して竹炭で焼こう!



食べるのが待ちきれない



参加者みんなで、5-3 (ごひくさん) は、(∧v∧)♪

「炭焼き体験と水辺の交流会」に関するアンケートの内容

8月21日(金)に開催された当フォーラムの「炭焼き体験と水辺の交流会」に関するアンケート調査結果について、以下のとおりまとめましたので、ご報告します(アンケート回収率:100%)。

1. 回答者の属性

性別	男		女		不詳		合計	
人数(構成比%)	12	41.4%	17	58.6%	0	0.0%	29	100%

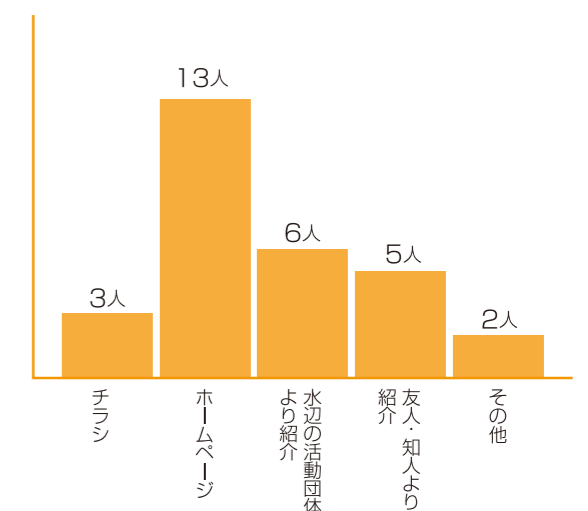
属性別	小学生	中学生	高校生	保護者	一般	不詳	合計
人数	15	1	0	10	3	0	29
構成比%	51.7%	3.5%	0.0%	34.5%	10.3%	0.0%	100%

会員別	会員		非会員		不詳		合計	
人数(構成比%)	0	0.0%	20	69.0%	9	31.0%	29	100%

住所別	武蔵野市	小金井市	八王子市	青梅市	川越市	合計
人数	2	2	3	18	4	29

2. 本日の「炭焼き体験と水辺の交流会」は何で知りましたか？

	回答者数	構成比(%)
・チラシ	3人	10.3%
・ホームページ	13人	44.8%
・水辺の活動団体より紹介	6人	20.7%
・友人・知人より紹介	5人	17.3%
・その他	2人	6.9%



「炭焼き体験と水辺の交流会」に関するアンケートの内容

(平成21年8月21日 美しい多摩川フォーラム事務局)

「炭焼き体験と水辺の交流会」に関するアンケート

このたびは、「炭焼き体験と水辺の交流会」にご参加頂き、誠に有り難うございました。今後のフォーラムの活動をより良いものにしていくために、以下のアンケートには是非、ご協力をお願い申し上げます。ご記入頂きました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。

1. 回答者の属性(○印で囲んでください。)

- ・ 性別: 男、女
- ・ 属性: 小学生 中学生 高校生 保護者 大人(水辺の楽校関係者、一般)
- ・ 会員: 当フォーラム会員 同非会員
- ・ 住所: _____ 市区町

2. ご参加されたきっかけ(○印で囲んでください。)

- チラシ ホームページ 水辺の活動団体より紹介()
- 友人・知人より紹介 その他()

3. 参加された目的は何ですか(○印で囲んでください。)

- ・ 自然や環境を学びたい ・ 山や川で遊びたい ・ ライフジャケットを着用したい
- ・ その他()

4. 各イベントの感想をお聞かせください。

(竹炭焼き・窯出し体験)

(ヤマメ・ニジマスつかみどり体験)

(紙芝居)

(ライフジャケット浮力体験)

7. 次回、また参加してみたいですか(○印で囲んでください。)

はい いいえ

8. その他、参加してみたい事業はありますか(○印で囲んでください。)

ある(具体的に記入: _____) ない

9. 当フォーラムの運営等で気が付かれたこと。その他何でも自由にお書きください。

ご協力有り難うございました。今後の活動の参考にさせていただきます。

3. 参加された目的は何ですか？(複数回答可)

	回答者数	構成比(%)
・自然環境を学びたい	9人	26.4%
・山や川で遊びたい	21人	61.8%
・ライフジャケットを着用したい	2人	5.9%
・その他	2人	5.9%

【その他理由】

- 釣りをしたい。
- 自然を体験させたい。

4. 各イベントの感想をお聞かせください

竹炭焼き・窯出し体験

- 楽しかった。面白かった。貴重な体験でした。
- 大人には勉強になり、面白かった。子どもには難しいと思った。
- 竹炭は想像より堅かった。意外に軽かった。
- 竹炭づくりを初めて見ました。
- 竹炭は楽器みたいな音がした。良い音だった。
- 竹炭焼きのしくみがよく分かりました。
- あまり面白くなかった。
- 蒸し焼きにすることは初めて学びました。
- 出来上がりまで相当の時間がかかるのに驚きました。
- 窯を初めて見ました。キレイに炭が並んでいてビックリ！

紙芝居

- すごく分かりやすかったし、面白かった。
- 温暖化、自分たちで気をつけられることを分かりやすく学びました。
- 絵がきれいで、ひらがなを使っていたので、子どもが読みやすく良かった。
- 川の安全について良く分かりました。学校で、川は危ないと言われていましたが、これからはどどん川へ遊びに連れて行きたいです。
- 川から温暖化が始まったというのは驚いた。
- よく分からなかった。
- エコについても分かりやすかった。
- お魚にやさしくしようと思う。
- 分かりやすい環境学習だと思います。
- 知らないことを知ることが出来た。

ヤマメ・ニジマスつかみどり体験

- すごく楽しかった。いっぱい取れるとうれしい。
- 大人もやりたかった。
- ぬるぬるしたけど、慣れるといっぱい取れるようになった。
- つかみ取りを経験した事はあったが、その後、実際にさばいたり、魚のおなかの中を見せたりした事はなかったので、子どもはとても興味深そうにしており、焼きたての魚もおいしくいただきました。
- 面白すぎた。魚をさばくのが恐かったけど、楽しかった。
- 子どもが魚を触わるのを怖がって、親としてはガッカリ、もっと鍛えなくては…!!
- つかみ取りに加え、魚の解体がいい勉強になったようです。
- 家では魚をさばくのを手伝う事はないので、体験できて良かった。
- 娘は初めて魚をおろしたりして、楽しかったようです。
- つかみどりがあって楽しかった。

ライフジャケット浮力体験

- 浮力体験、ボート遊び、川遊び、とても充実した内容でした。
- 普段の川遊びでは出来ない事ができて良かった。
- もっと流されたい。
- 岩からの飛び込みなど、川をよく知っている方の指導があれば、安心して体験することが出来ます。子どもが一番楽しそうで、引っ込み思案だと思っていたのに、積極的に驚きました。
- 寒かったけど、ライフジャケットを身に付けると、体が浮くのでびっくりした。
- 保護者も安心して見守る事ができた。
- 宇宙にいるようだった。
- しっかり身に付ける事が、自分を守るのだと実感しました。
- 川ではライフジャケットを身に付けていれば、流されても安心だと分かりました。
- 前にもやったことがあるが、とても面白かった。

5. 次回、また参加してみたいですか？

	回答者数	構成比(%)
・はい	28人	96.6%
・いいえ	1人	3.4%
・不詳	0人	0.0%

6. その他、参加してみたい事業はありますか？

・カヌー(3名)	・ラフティング
・ノコギリを使って木や草で工作する(3名)	・カレーなどの料理作り
・多摩川に入って遊ぶ(2名)	・水中生物の観察
・イカダ、ボート	・ニジマス釣り

7. 当フォーラムの運営等で気が付かれたこと。その他何でも自由にお書きください。

- 親切で受講料が無料で、申し訳ないです。
- 細やかな対応を有り難うございました。時間配分も忙しすぎず、良かったです。
- 中学生が少ない。
- 突然のビデオ撮影、インタビューは遠慮してほしかった。
- 楽しい時間を有り難うございました。
- 多摩川はきれいな川だという事を子どもたちに伝えてください。
- 魚のさばきが面白かった。
- 事務局がチームワークよく運営されていることに感動し、やさしく丁寧で感謝いたします。
- 丁寧、親切な対応でとても有り難かったです。
- 参加出来てとても楽しかったです。

2009年9月4日「日本金融通信社(ニッキン)」掲載記事

多摩川フォーラムが「水辺の交流会」
青梅信金が事務局

青梅信用金庫(森田 昇理事長)が事務局を
 竹炭を取り出し、環境
 や健康面から注目され
 所を未来を担う子供た

務める「美しい多摩川
 フォーラム」は8月21
 日、多摩川流域の「御
 岳の森」で「炭焼き体
 験と水辺の交流会」を
 初めて実施した。小中
 学生30人(保護者を含
 む)が参加した。

竹炭焼き・窯出し体
 験は、同フォーラム事
 務局が御岳の森に作っ
 た炭焼き窯で窯焼きし
 た。森田理事長・フォ
 ラム副会長は「この場
 所を未来を担う子供た

ちが環境や命の大切さ
 を学ぶ環境教育のステ
 ーションにしていきたく
 い」と話した。また、
 フォーラム副会長でタ
 レントのダニエル・カ
 ルさんも終日参加し
 た。

同フォーラムは多摩
 川流域の活性化を目指
 す官民連携の運動団体
 として07年7月に設
 立。同信金地域貢献部
 内に事務局を置き、
 「多摩川夢の桜街道」
 を整備するなどさまざ
 まな活動を行っている。

多摩川フォーラム副会長のダニエル・カールさんも子どもたちとともに竹炭焼き体験に参加(8月21日、多摩川流域・御岳の森)



おわりに

多摩川教育河川ネットワークプランの調査事業活動として、今年は「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」にて炭焼き体験と水辺の交流会を開催いたしました。盛りだくさんの企画でしたが、子どもたちは夏休みに貴重な体験学習をしました。

後半は子どもたちと一緒に川で泳いだり、飛び込んだりと、大忙しの日となりました。ダニエル・カールさんも、ボランティアとして一日中、子どもたちと一緒に学び、遊んでいただきました。

「川ってとても楽しい!」「ライフジャケットを身に付ければ安全!」「来年もぜひ参加したい!」といった子どもたちの弾む声に名残を惜しみながら、あっという間の一日が過ぎました。

当フォーラムでは、川の危険性と安全性を学び、体験してもらうことにより、子どもたちの感性が豊かになるお手伝いが出来ればと思い、これからも多摩川とふれあうイベントをたくさん企画していきたいと思っています。

2009年12月

美しい多摩川フォーラム事務局

2009年9月4日「西多摩新聞」掲載記事

川で遊ぼう!
御岳の森で自然体験
美しい多摩川フォーラム

ニッ
 ピッ
 ク
 UP

は今年2月、御岳の森を
 設置し、事務局(青梅信
 用金庫地域貢献部)が
 約3か月かけて地元の関
 心者を募り、炭焼きと自
 然体験教室を開設。この
 日のために白かきで竹
 炭を作った「専真」
 当日は、「遊びに詳し
 い」運営委員の山崎充昭さ
 んが、「田んぼで川に行か
 ない」という川には近
 づかない水も落ちても
 あわてない、困ったら大
 人を呼ぶ」などの注意を
 レンジャーした後、参加
 者は竹炭窯から出す
 岳の森で「炭焼き体験
 と水辺の交流会」を行い、
 ママとニジマスのつかみ
 どり、ライフジャケット
 浮力体験などに挑戦。
 参加した子どもたちは
 づくりを目標とするフォ
 ラム(07年7月設立)

魚のつか取り中に
 なり、ヤマやニジマス
 を自分の手でつか
 いて、窯から出した竹炭の
 焼いて楽しんだ。
 同フォーラム副会長の
 ダニエル・カールさんは
 参加者と話をしながら
 「若いうちから川を遊
 び、川の大切さを体
 感するのはとてもいい
 とて笑顔を見せていた。

